

# ヨットマンに必要な情報を網羅したしまなみ浪漫航路提案

ワークショップ1日目／実地調査で伯方島・尾道を訪問しました。伯方島では、「ふるさと歴史公園」へ、尾道では「おのみち海の駅」を視察しました。  
 ワorkshop2日目／前日の調査のまとめをし、今治ヨットクラブの方々を招き、海の駅のハード運営について議論しました。

## 1次情報

まず今回の調査で、車からの調査では海目線にはなりきれず、どうしても観光施設やグルメ情報で話を進めてしまっていた経緯がある。ヨットマンの目的の大前提として「船に乗る」事があり、まずヨットを停めれるのかどうか、お風呂に入りたい、食事を取りたいなどの1次情報をヨットマンたちが求めているのがわかった。

買物



JA 越智今治伯彩伯方直売所

宿泊



鶏小島キャンプ場

トイレ



マリンオアシス伯方

銭湯



多々羅温泉

ヨットマンの求めている情報を提示している事によって、港へも入って来やすいと思う。

## 2次情報

ヨットマンの中には船に自転車を載せている人も多くいるらしい。またレンタルサイクルに乗ることによって、行動範囲も広がるので地元の食や、地域の人との交流を通して、今治のライフスタイルを肌で感じてまた来たくなるような取り組み。

案内人



今治のことを「そこに住む人」が独自のフィルターを通して「港につく人」を紹介。将来、暖かい人を迎えられるまちになってほしいと思います。

観光



船乗りとして、この海道にまつわる水軍の歴史を知れる場所「今治市村上水軍博物館」

ごはん処



美味しいご飯が食べれるのはもちろんのこと、そこにいる大将や女将さん、常連さんと楽しくおしゃべりができる場所。

銭湯



旅の疲れを癒やししながら、地元の人とゆっくり話す機会を作れる場所。

## 調査方法

### ヨットマンの気持ちで調査

- ・今治～宮浦～尾道間をヨットで実際に航行し、調査する。
- ・海上からの調査だけでなく、ヨットには自転車を搭載し、陸上の調査も行う。
- ・港からの距離を設定して調査する。(たとえば「港から〇〇歩」、「自転車で移動したときに疲れない範囲」等)
- ・事前にヨット利用者にアンケートも実施しておく、さらに効果的

### ◆調査内容

- ・一次情報、二次情報
- ・ライフスタイル
- ・オモシロ案内人さがし →図鑑をつくる(交流を促進する)

### ◆将来的に

- ・はじめは数島のみに限られるが、どんどん数を増やしていく
- ・停泊できるポイントをつないで、瀬戸内88箇所を決める



## MAP



瀬戸内海・来島海峡は潮が早く、ヨットで安全に航海するためには、限られた航路しかありません。その航路の海図のみではなく、停泊できる港のポイントや、島々の1次情報や2次情報など網羅した案内図の提案が必要不可欠であると考えます。

おもしろ案内人・島美人情報・絶景ポイント・砂浜独り占めスポット・郷土料理を作ってくれるお母さん、お父さん情報・日陰ポイント・昼寝ポイント・地元民たむろスポットなど、ふらっと立ち寄ったヨットマンたちが安全な航海としまなみでの新しい発見を楽しめる情報をマップにまとめる。



## 海の駅



おのみち海の駅の視察で、尾道商工会議所の池田さんにお話を聞き、おのみち海の駅は、2年前に1億4,500万をかけ整備され、初年度は200隻、次年度は270隻ほど停泊されています。目標を500隻に設定し、海の駅の閑散な風景を変えるために、市内のヨット保有者への働きかけを実施する予定です。今治の海の駅もしくは内港の風景を変えることで、そこに賑わいが生まれ、新しいライフスタイルが確立されると思われます。

しまなみ間には、宮窪港(大三島)、弓削にも海の駅があります。



みなと部会メンバーの高橋くんのテスト航海をもとに、おのみち海の駅から今治港までのしまなみ浪漫航路を設定し、宮窪港、伯方港、井口港、大久野島、三原市、尾道市を經由し、各港でヨットマンにインフォメーションできる情報をまとめました。